



今月の特集

ゴールドとセラミックの違いと使い分け

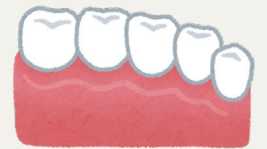
前回のニュースレターで「世界情勢と被せ物」について特集しました。

今月、来月の2回に渡って「ゴールドとセラミックの違い」について解説したいと思います。

ゴールドはご存知のように、審美性に優れる素材ではありません。

見た目に問題があるのが最も欠点となるところで、“おじいちゃんが入れる素材”という感覚を持っている人も多いのではないのでしょうか？

でも実は、ゴールドは補綴治療においては非常に優れた素材と言えます。



ゴールドのメリット

ゴールドのメリットとして以下が挙げられます。

錆びにくく強度が高い、噛む力の強い方・歯ぎしり癖のある方・また力のかかりやすい奥歯に最適で、歯との適合性がよいため、治療後に虫歯になりにくいというメリットがあります。

また、長年使用され、且つ耐久性も高いという実績を持つ素材であることから、信頼できる素材といえると思います。

ゴールドの材質的な特徴



1

歯と
熱膨張率が
近い

歯科材料のほとんどは冷たいと縮み、熱くなると膨らみます。

冷たい飲み物や熱い食べ物まで口の中の温度は様々に変化し、詰め物と歯が同じ熱膨張率ではないため、歯に大きな負担がかかります。

しかし、ゴールドは熱膨張率が天然の歯に近く、歯に対する負担が少ないという大きな特徴があります。

また、ゴールドは自分の歯とほとんど同じ硬さで、人間の歯は年齢とともに少しずつすり減っていきませんが、ゴールドも同じように少しずつ減ります。

自分の歯と同じように少しずつ変化してくれるので非常に長持ちする素材であり、一説では“生涯修復である”と言われます。

2

ご自身の歯を
極力残すことが
できる

ゴールドは折れにくく、被せ物を薄く作ることが可能な為、歯を削る量を少なくする事ができます。

治療をしていると、40年～50年前に治療された金の詰めものを時々目にすることがあります。生涯使うことができる素材と言われるのがよくわかる瞬間です。

セラミック治療のメリット

当院で推奨しており、多くの皆さまにご提供させて頂いている“セラミック”のメリットは以下となります。

1. 自然な仕上がりで目立たない

従来歯が持つ色合いを再現できるため、治療したことがわからないくらい自然な仕上がりになります。見た目がきれいなので、思いっきり笑っても気になりません。

2. 質感がよく透明感がある

歯本来の透明感を再現することができるので、見た目が自然できれいなのが特徴です。また、表面がつるつるしていてプラークが付きにくいメリットがあります。

3. 持続する美しさと耐久性

セラミックは経年劣化が少なく、従来歯のようなツヤがあり美しさが持続しやすいため、長期に渡り使用し続けることができます。また、白色なので見た目の良さはもちろんですが、体に優しい治療法といえます。



次回は、セラミックのデメリットと2つの素材の共通点についてご紹介します！

スペシャル付録



今年も朝のランニング中に「ふきのとう」採ってきてます！

塩茹で60秒、風味を残してしっかり水分を絞ってオリーブオイルで整えて。

ハイボールに合います～！

シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>